

安全と安心のために

大規模な災害のために

耐震強化岸壁

大規模災害時には緊急物資等の海上輸送の拠点として2か所の耐震強化岸壁が整備されています。

耐震強化岸壁 平成港 延長90m 水深(-5.5m) 平成元年度(1989年)整備

久里浜港 延長100m 水深(-7.5m) 平成15年度(2003年)整備



市民の日常生活を守るために

高潮対策護岸

馬堀 延長1,650m

国直轄工事 平成17年度(2005年)整備

大津 延長517m

令和5年度(2023年)整備



侵食対策事業

野比 離岸堤14基 大型突堤1基 突堤1基 人工リーフ2基 総延長5,000m
(漁港区域含む)



災害時のネットワーク確保のために

令和7年(2025年)12月16日に「命のみなとネットワーク」(国土交通省)の形成に向け関係機関とともに訓練を行いました。この訓練は、災害により陸路が寸断された場合、海沿いの集落へ迅速・的確に物資を運搬する体制の構築を目的としています。

- ・耐震強化岸壁のある平成港、久里浜港から長井漁港(相模湾側の漁港)に向けた支援物資の輸送。
- ・長井漁港の岸壁の調査、着岸可否の確認、漁港からの陸揚げ、避難所への運搬。

1. 調査船着岸、
調査員下船



2. 着岸可否判断のための
岸壁調査



3. 物資輸送船着岸



4. 物資輸送



(参加機関) 横須賀市、国土交通省関東地方整備局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人港湾空港技術研究所、横須賀海上保安部、海上自衛隊横須賀地方総監部、横須賀市東部漁業協同組合、長井町漁業協同組合